

第108期株主総会 事前質問への回答について

この度は、当社株主総会に先立ち多数のご質問を頂き、誠にありがとうございました。頂いたご質問について、下記の通り回答させていただきます。よろしくお願いいたします。

記

Q1 取締役の年齢層が高いが、今後についてどのように考えているか。

A 取締役会の構成については、知見・経験や専門性、多様性、規模を始め様々な視点から指名委員会で議論しており、現時点においてはバランスの取れた構成と考えております。一方で年齢も多様性の一つである中、現在の取締役会の年齢構成が高い水準になっていることは認識しており、後継人材の育成を含め検討して参ります。

Q2 連結貸借対照表に計上されている投資有価証券299億円について投資先及びそれぞれの投資額・投資目的・今期の利益を教えてください。

A 投資有価証券299億円の9割以上を単体が保有しており、その85%が販売先または仕入先であります。当社の政策保有株式に係る方針は、中長期的な取引の維持・強化につながる場合に政策的に保有することを原則としており、毎年執行役員会・取締役会において定めた基準をもとに検証しております。検証基準は販売先・仕入先とも投下資本収益率をもとにしておりますが、特に販売先については取引拡大目標を定めその達成率も検証しており、定めた基準を一定期間満たさない場合売却することとしております。2016年から初めた本検証により一部売却も含め55銘柄売却しております。なお、個々の銘柄ごとの投資額・目的は有価証券報告書に記載予定ですが、監査中なうえ利益等はビジネス上の影響もあり詳細はご容赦ください。

Q3 河川からの栄養素の流入は海の生態系に重要であるといわれており、近年では護岸工事等による影響で河川の生態系が破壊されて海へ流入する栄養素が減少する可能性が考えられている。ニッスイでは、河川やその集水域の自然環境に関してどのような考えを持っているか。また、河川環境やその生態系の維持に関して力を入れる予定はあるか。

A 当社グループでは、環境憲章やサステナビリティ行動宣言の中で「自然環境と生物多様性の保全」を謳っており、「森・川・海」の連携保全をコンセプトにしたさまざまな活動を行っております。例えば鳥取県では、当社グループの漁業、養殖会社が同県の自然の恵みを享受して事業活動を行っておりますが、栄養豊富な湧水を保ち、多様な生物が暮らす豊かな海の形成を目指し、2018年に県や町と協定を締結、「おさかなをはぐくむ湧水と海を守る森」と名付けた

森林の保全活動を行っております。また、同年の新入社員研修より、川の環境や生物多様性についての学習と河川区域の漂着ごみ野外調査を組み合わせた環境学習プログラムを組み入れ、社員ひとり一人に向けて意識啓発を図っております。自然資本は当社グループの価値創造の源泉と認識しており、引き続き、自然環境や生態系の維持に向けた責任ある行動と情報開示に努めて参ります。

以上